



キノコを天日干しにすると栄養価が高まるそうです



丁寧な暮らし方を教えてくれた西岡さん

心豊かに暮らして

幼い頃、寿徳寺の寺保育に通っていたという西岡明子さん(66)は、「ウサギの絵が付いたお弁当箱を持って、寿徳寺まで歩いて通っていました。年が近い子どもたちがたくさんいて、楽しかったことを覚えていまして」と振り返ります。

西岡さんは仕事でしばらく古里を離れていましたが、30年前に家族と実家のある平田に戻り生活の拠点としました。「父と母がいたから、安心

して仕事に打ち込めました。しばらく離れていたからこそ、古里の良さがよく分かるようになりました」と話す西岡さんの楽しみは生け花。「足元に咲いている花を飾るだけで心が潤います」と言います。庭先にはキノコが干されています。「キノコはね、天日干しにすると栄養価が高まるんですよ。自宅で取れた果物で酵素やジャム、果実酒を作ったり。ここ

にあるもので楽しむ暮らしを満喫しています」と満面の笑みを浮かべる西岡さんから、心豊かに暮らすことを教えてもらった気がします。

月曜日の健康体操

一週間が始まる月曜日の午前中、平田西地区にある教育集会所では健康体操が行われています。集会所に集まる人たちは、どなたもはつらつとしています。「人さまにお世話をかけず、自立できる老人を目指して、皆さんと一緒に健康体操をがんばります」と明るく答えてくれたのは、



庭や家の周りに咲いた花を飾る西岡さん

はせがわきみこ
檀川貴美子さん(68)です。

集会所では笑い声が響き渡ります。誰かが「私たちが年始めの広報まじきの表紙を飾るとかな？」と冗談を飛ばします。「お願いしたいところではありますが」と返事を濁すと、どつと爆笑の渦が起きました。さて、今年のわがまち散歩でも、町の皆さんとの温かく楽しい出会いをお届けします。



「独立した老人を目指します」と明るく答えてくれた檀川さん

散歩の終わりに

平田地区では熊本地震の遺構が7カ所点在しています。断層が通った場所の持ち主の方がすすんで提供くださり、地元の人たちによるボランティアガイドで、町内の小学生らに防災の大切さを伝えていきます。

そうした活動から、平田地区の人たちの古里を愛する思いや、昔から根付いてきた心のつながりを感じます。この日の出会いに、感謝。



平田西地区にある教育集会所で健康体操に張り切る皆さん